

【科目名】 認知心理学		【担当教員】 宮岡 里美 研究室 E 棟 2 階 内線 311 (メールアドレス) miyaoka@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月～金 9:00-17:00						
【授業区分】 専門基礎 (リハビリ関連科目)	【授業コード】 2-14-0490-0-3							
【開講時期】 3 年次 前期	【選択必修】 PT/OT 選択 ST/RP 必修							
【単位数】 2 単位	【コマ数】 15 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ST 専攻の学生にとっては言語聴覚士国家試験に出題される重要な領域です。 RP 専攻の学生にとっては認定心理士資格申請要件の一つとなっています。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 随時、授業中に課題を課します。								
【講義概要】 (目的) 人間を一種の情報処理システムとしてとらえる捉える認知心理学の基礎的知見を理解し修得することを目的とする。 (方法) 講義中心ですすめていく。 毎回、資料としてプリントを配布します。								
【一般教育目標(GIO)】 ・ 認知心理学の各トピックに関する基本的な知識を身につける。 ・ 認知の障害について理解する。								
【行動目標(SBO)】 ・ 各講義で説明した認知心理学のトピックについて説明することができる。 ・ ST 等の国家試験過去問に対応できるだけの知識を身につける。								
【教科書・リザーブドブック】 大山正編著 『実験心理学』 (コンパクト新心理学ライブラリー16) サイエンス社 1,850 円+税								
【参考書】 森 敏昭・井上 毅・松井孝雄 『グラフィック認知心理学』 サイエンス社 2400 円+税 行場次朗・箱田裕司編 『知性と感性の心理学：認知心理学入門』 福村出版 2700 円+税 井上毅・佐藤浩一編 『日常認知の心理学』 北大路書房 3400 円+税								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の G P A 制度に従う。 受講態度 10%、ミニレポート 20%、学期末試験 70%で、総合的に評価する。								
【達成度評価】	試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポर्टフォ リオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	10	100 点
評 価	取り込む力・知識	50	20	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造の力	20	10	20	0	0	0	30

平成 26～28 年度入学者用

指 標	コラボレーションとリーダーシッ プ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	10	20

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	感覚 I 感覚の種類、感覚の範囲と感度	講義		20
2	感覚 II 感覚の物理量と心理量、感覚の順応 ・対比・加重	講義		20
3	知覚・認知 I 色彩知覚、奥行き知覚、図と地	講義		20
4	知覚・認知 II 運動の知覚、知覚の恒常性、運動の協応	講義		20
5	知覚・認知 III 認知地図、対人認知、感覚遮断	講義		20
6	知覚・認知 IV 注意、認知の枠組み	講義		20
7	まとめ 国試過去問にみる「感覚・知覚・認知」	講義 演習		20
8	記憶 I 記憶過程、記憶の分類、短期記憶、 ワーキングメモリ	講義		20
9	記憶 II 長期記憶、顕在記憶・潜在記憶、展望記憶	講義		20
10	記憶 III 忘却と記憶の変容、ヒューマンエラー	講義		20
11	まとめ 国試過去問にみる「記憶」	講義 演習		20
12	思考 I 演繹的推理、帰納的推理、類推	講義		20
13	思考 II 問題解決	講義		20
14	言語 言語使用、言語獲得、言語と思考	講義		20
15	認知の障害とリハビリテーション	講義		20

平成 26～28 年度入学者用

	まとめ 国試過去問にみる「思考」	演習		
--	------------------	----	--	--

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。 ※ここに示す学修課題の時間は必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。